

【3】江迎地区福祉推進協議会の紹介

どのような団体？

江迎地区福祉推進協議会（略称：福推協）は、地域住民の身近な困りごとをはじめ様々な情報を把握し、その解決に向けた活動などに地域の多くの団体や住民が連携して取り組み、安心して暮らすことができる地域づくりを進めるという大きな役割を担う組織です。

江迎地区福推協は、平成23年に設立され、構成団体のメンバーを中心に、住民の皆さんと一緒に様々な活動に取り組んでいます。

どのような人たちがメンバー？

町内連合会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、生涯学習推進会、PTA、学校、地域婦人会、行政など、幅広いメンバーで構成されています。

主な活動は？

福推協では、地域が抱えている福祉問題や住民のニーズにあった活動に取り組んでいます。ここでは、主なものを紹介いたします。

定例会の開催

江迎地区の福祉問題の把握と、その解決に向けた話し合いを、一人ひとりがアンテナ役となり、年3回程度開催しています。

広報誌の発行

地域住民の福祉意識の向上と福祉活動への参加促進、福推協活動のPRなどのために、「福推協だより」を年2回程度発行しています。

交通安全帽子の贈呈

江迎・猪調小学校の4年生を対象に、毎日の登下校時の安全を願い、毎年黄色い帽子を贈呈しています。

ベンチの寄贈

毎年、要望があった地区にベンチを寄贈しています。住民の皆さんに安心して利用していただきたいと思います。

これからも、地域の様々な団体が共に連携を深め、一緒に活動していくことで、さらに充実した活動になればと願います。地域で活動されている団体の情報がありましたら、ぜひお知らせ下さい。

【4】江迎地区「地域福祉 “お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”って何？

もっと住みやすい江迎のまちにするために、地域の人々がいろいろなことを話し合ったのが、“お茶の間トーク”です。

参加された皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、一緒にまちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

お茶の間トーク

テーマ：「地域のことを見つめなおそう！」

～みんなに出来ることを探そう！～

日 程：平成24年12月9日（日）

内 容：●お茶の間クイズ

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは江迎地区にちなんだクイズをグループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う江迎地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加された皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見したりと、いい機会になったようです。

※下のようなことが多く出されました。



【よかところ】

自然がいっぱい

伝統文化・行事が素晴らしい

病院が多く、医療に安心感がある

【気になるところ】

商店の減少により買い物が不便

ゴミの分別や不法投棄が多い

子どもが安全に遊べる場所が少ない